

「信州新町地区の公共施設を考える」 市民ワークショップ ～第4回～

2017年1月13日

主催：長野市（公共施設マネジメント推進課・信州新町支所）
協力：信州新町地区住民自治協議会
開催支援：日本管財(株)（一財）長野経済研究所
信州大学工学部建築学科

オリエンテーション

ワークショップ全体の流れ

	時間	内容	場所
第1回 ワークショップ	11月12日（日） 14：00～16：00	オリエンテーション グループ検討 使ったことのある信州新町地区の公共施設を書き出そう	信州新町 支所2階
第2回 ワークショップ	11月25日（土） 14：00～16：00	グループ検討 信州新町の将来、こんな地区を作りたい、 そのために公共施設「したいこと」を考えよう	信州新町 支所2階
第3回 ワークショップ	12月16日（土） 14：00～16：00	グループ検討 地区の公共施設の集約化・複合化について考えよう	信州新町 支所2階
第4回 ワークショップ	1月13日（土） 14：00～16：00	グループ検討 信州新町の公共施設の将来像をまとめよう	信州新町 支所2階

※グループ検討の内容は、状況によって変更する場合があります。

今日のスケジュール

時間	内容	詳細
14:00-14:15	オリエンテーション	第3回ワークショップの振り返り 第4回ワークショップの進め方
14:15-14:45	グループ検討（前半）	
14:45-15:15	グループ検討（後半）	
15:15-15:25	休憩	
15:25-15:50	グループ別最終発表	発表時間は各グループ4分程度
15:50-15:55	挨拶と講評	住民自治協議会からの挨拶 久保田総務部長からの挨拶と講評
15:55-16:00	記念撮影・アンケート記入	

第3回ワークショップの 振り返り

A・B 合同グループ

テーマ

- 高齢者福祉・住民交流の場

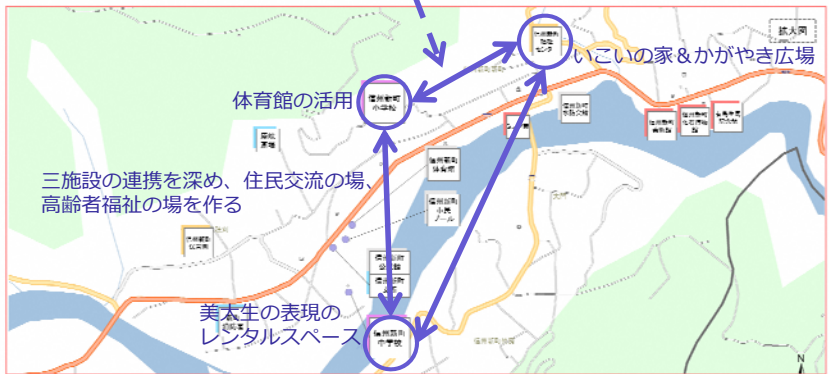
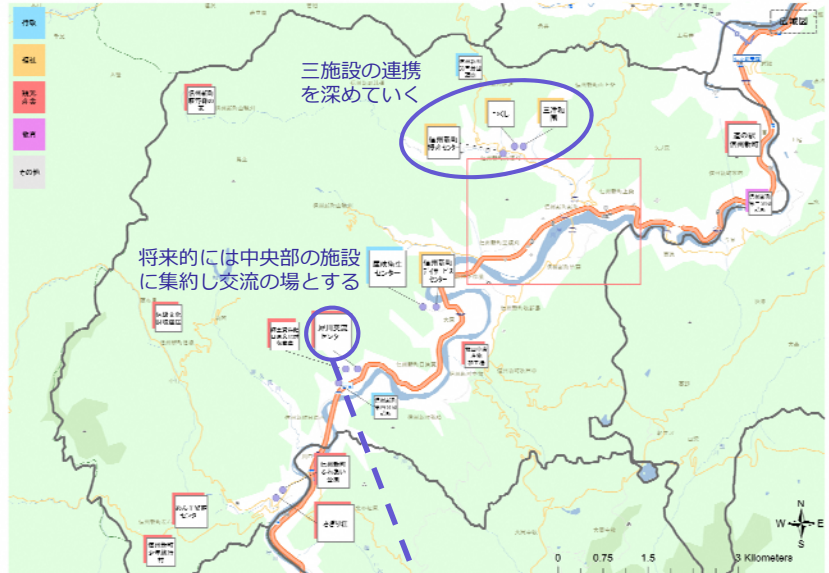
集約化・複合化の考え方

- 福祉センターのお風呂が使われておらずもったいない。新しい施設を作るのではなく、既存の施設を使っていくことが重要。
- 信州新町に他地区のような憩いの家、かがやき広場を作る。そうすることで他地区からの住民の来客も増え交流人口が増加する。そのためには中央の三施設が連携し、いまあるスペースを活用していくことが重要だ。
- 将来的な話にはなるが、授産センター、つくし、三津和の三施設の連携を含めて統合を視野に入れていく。

その他の意見

- 今後増える高齢者の対策、交流人口増加のための施策が重要になってくる。
- 犀川交流センターに大工の卵を呼び、実際の施設を使って自由に改装させると面白い、需要があると思う。

小学校・中学校・福祉センター・(犀川交流センター)を具体的にどう連携させていくか？



Cグループ

テーマ

- 住みやすい町～子供ファースト～

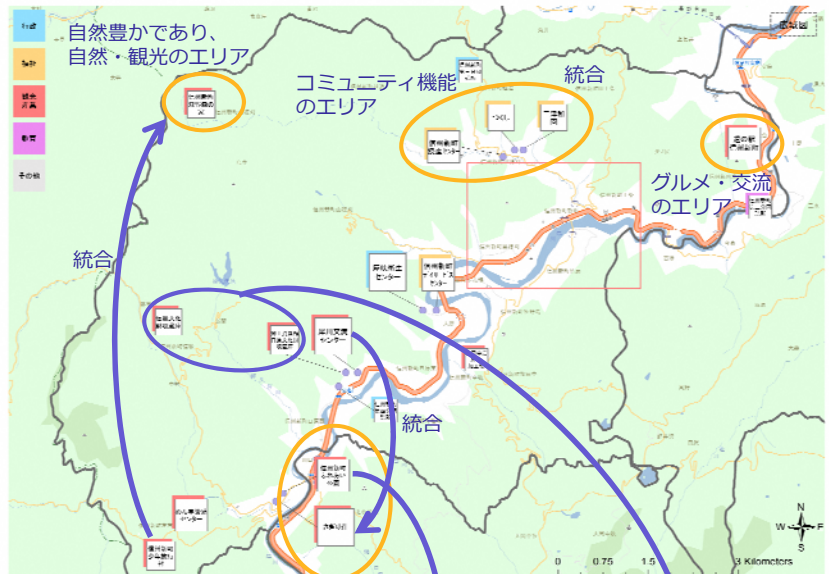
集約化・複合化の考え方

- 信州新町体育館のロビーが小中学生のたまり場になっている。そこで、本体育館を拠点に子供と親が土日と一緒に過ごす場所を整備する(体育館に近接する運動場へ信州新町ふれあい公園の遊具を移設し、公園化。図書館機能の設置、福祉センターの複合化)。化石博物館の前にある恐竜を公園へ移設し、日頃から子供達の目に触れるようにする。
- つくし周辺の3施設はいずれかの施設へ統合する。

その他の意見

- 子供が住みやすい町にすることで子育て世代の満足度を上げ、定住人口の促進に繋げたい。
- 子供たちの土日の居場所がない。支所のロビーは入りづらい雰囲気があるため、体育館のロビーに集まる傾向がある。
- 公民館の図書館を土日開放してほしい。WIFIを設置してはどうか。
- 犀川交流センターの課題は、体育館の天井が低い、グラウンドが使えない。

体育館を拠点にしたエリアを具体的にどう整備していくか？



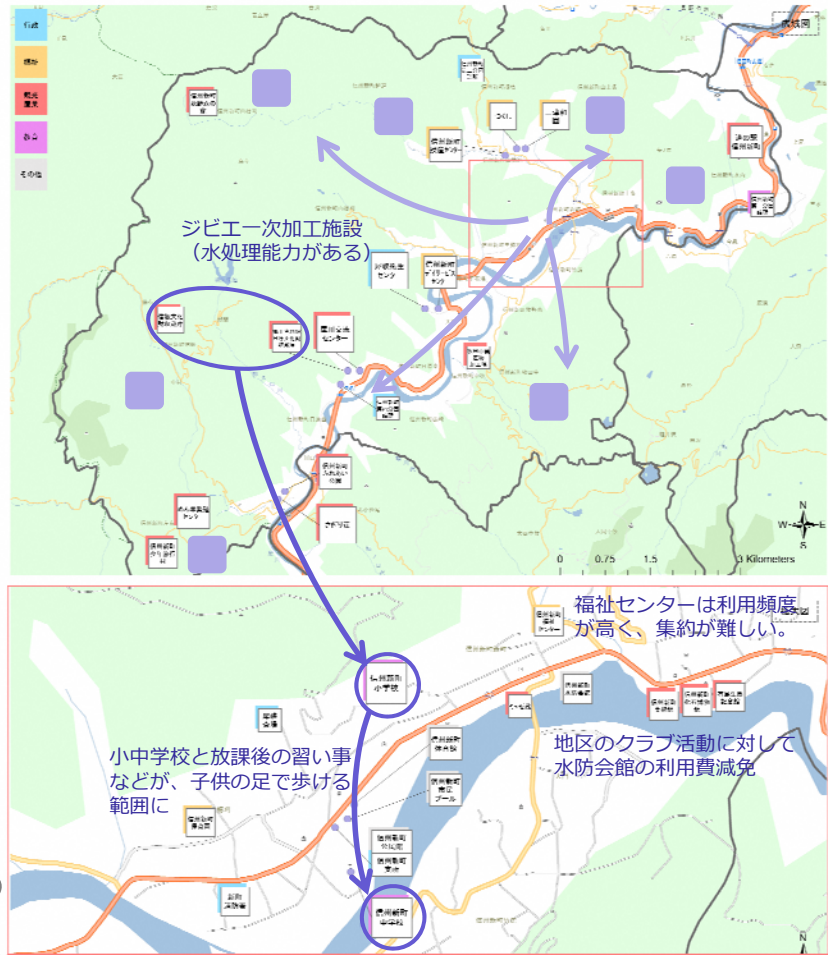
Dグループ

テーマ (なし)

集約化・複合化の考え方

- 公共施設を集約する結果、点在する集落に住む交通弱者(子供・お年寄り)は不利益を被るかもしれない。
集落の集会所などを「用途転換しやすい箱」に「診療所、買い物、支所窓口など」のソフトが10日に1回程度出張することで、集約のデメリットをカバーしたい。
集落内にあることで、一人暮らしのお年寄りも外に出てきやすい。
箱の運営は集落の人に任せ、移住体験等にも使えるようにする。
- 小学校は、中学校に集約。
市民プールを新しくして、小中学生の授業でも利用できるようにする。(できれば屋内プール)
- 信級・日原の収蔵庫は、収蔵品を整理する。価値の低いものは販売し、利益を活用する。
- 小学校の体育館は、新町体育館の分館として利用。また、収蔵庫にあるものを展示することで、ギャラリー機能を設けることで、地区外の利用者が新町に興味を持てるようにする。

集落の集会所に中央の機能を出張させることで、中央の施設をどのように整理できるか?



Eグループ

テーマ

- 交流

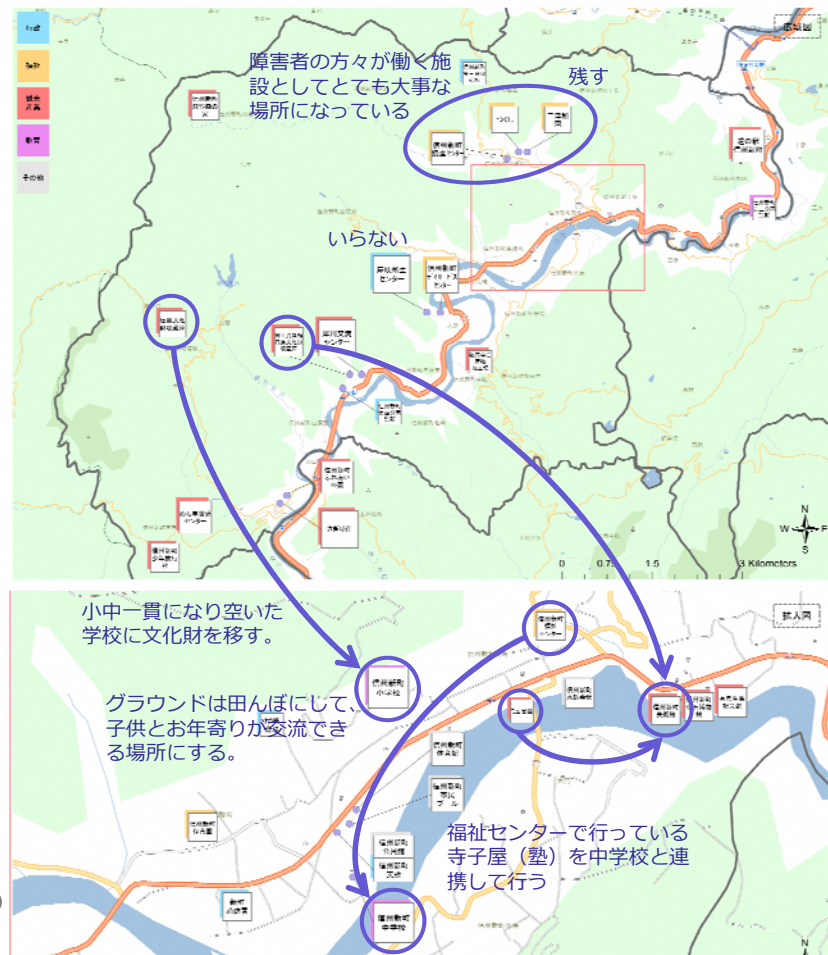
集約化・複合化の考え方

- つくし周辺の3施設は残す。
- 犀峽衛生センターは今ほとんど機能していないので、無くしても問題ない。
- このままだと児童数も減って行って、小中一貫になり、小学校は空く。空いた所に信級文化財収蔵庫、日原文化財収蔵庫などを移し、展示などを行う。
- 福祉センターで寺子屋(塾)を行っているが、それを中学校と連携して行う。これで寺子屋利用者も少しずつ増える。

その他の意見

- 今後の維持管理費用のこともある中で、今後どのような施設を残し、どのような施設を減らしていくか考えた。
- 交流というテーマは中学校を中心に考えた。
- 中学校に畑があるのでそこで高齢者の方々と交流したい、高齢者の方々は教科書やホームページには載っていない様々なことを知っているので、それを教えてもらいたい機会になる。

機能を移転した跡施設、必要のなくなった施設をどうするか?



グループ検討

信州新町の公共施設の 将来像をまとめよう (前半)

8

検討のポイント①

- 前回までの検討内容の資料を見返し、議論や、発表内容を振り返る。
- 前回のグループ検討で持ち越しになっていた議論や課題を整理する。



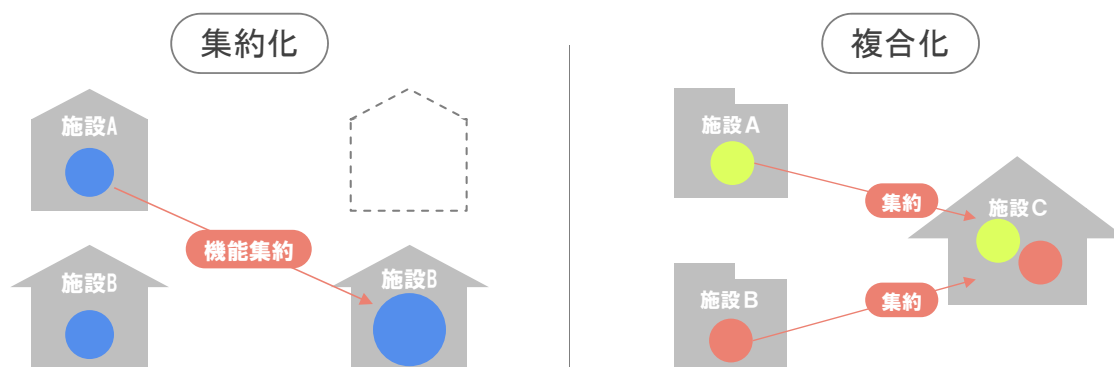
公共施設の将来像のコンセプトを考える

9

検討のポイント②

おさらい

集約化・複合化を考える



複合化・集約化すると、いろいろなメリットが...

「人が集まることによる活性化」「移動時間短縮」

「多世代交流」「人員配置の効率化」

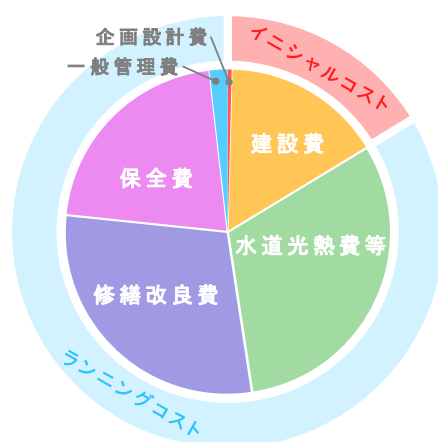
「共用部分の削減（エントランス、廊下、トイレ）」などなど

10

検討のポイント③

おさらい

将来まで残す施設を考える



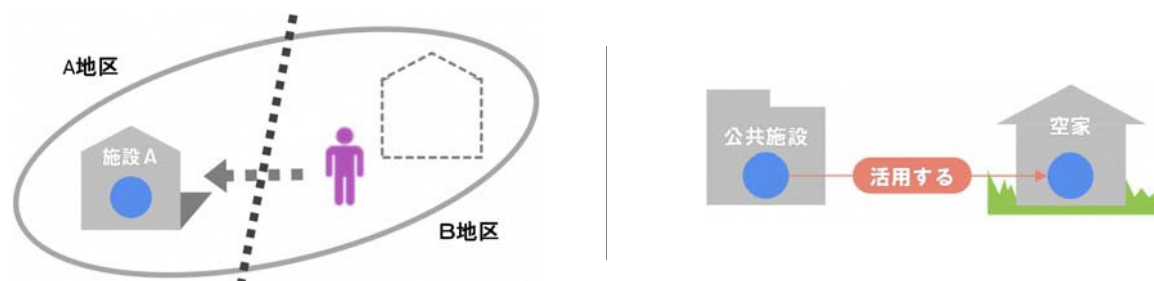
建物を将来まで維持するコストは、
(ランニングコスト)
建物を建てる際のコストの、
(イニシャルコスト)
5～6倍といわれています。

将来まで残す施設のコストは、将来の市民が負担します。
→将来まで残していく施設はどれですか？

11

検討のポイント④

公共施設以外の活用を考える



○公共施設以外や他地区の施設に使える施設があれば、積極的に活用する。

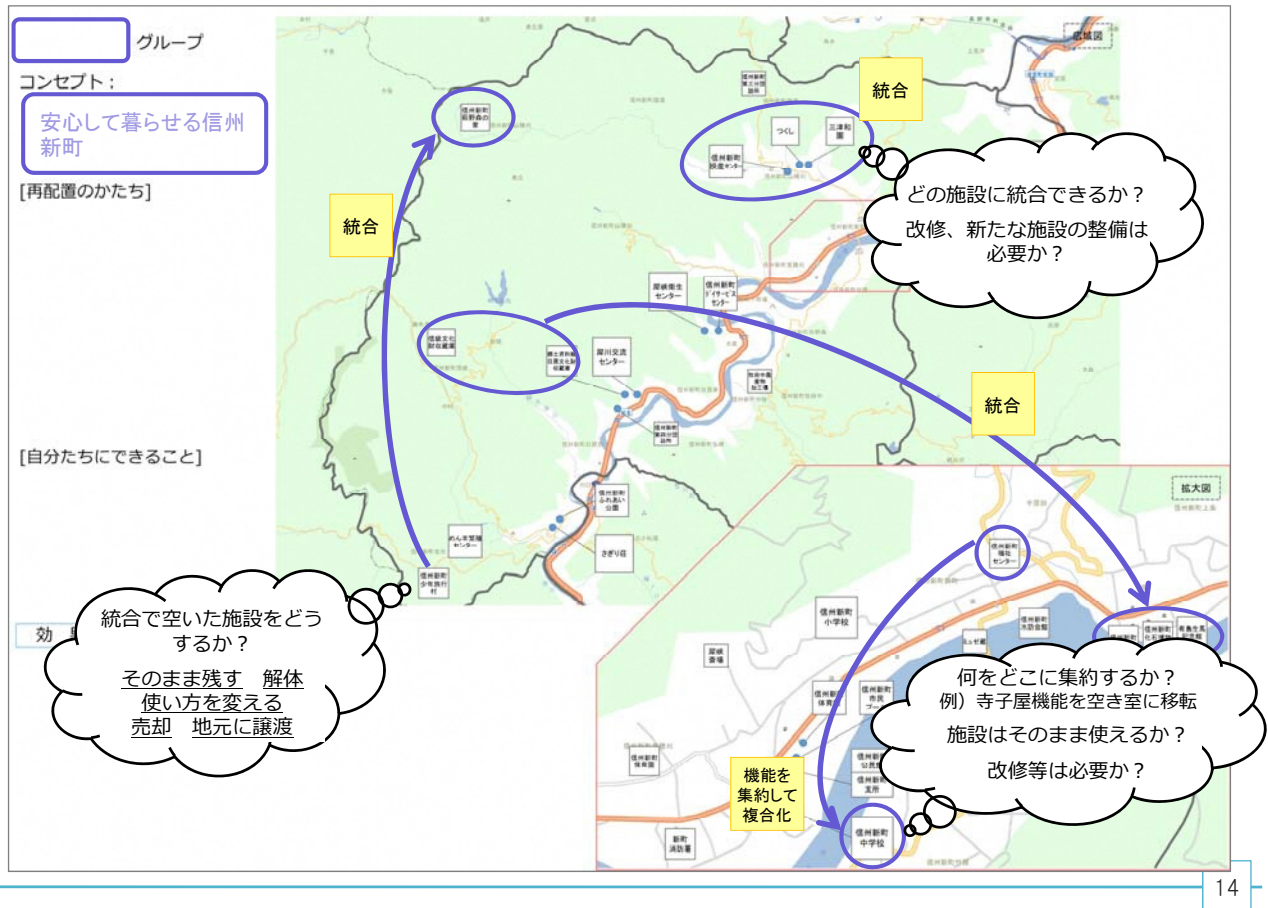
12

参考 長野市公共施設再配置計画での考え方（抜粋）

観光・レジャー施設	さぎり荘 萩野森の家 犀川交流センター 青少年旅行村	信州新町地区にある観光宿泊3施設を「さぎり荘」へ集約し廃止に向けた検討を行う。
産業振興施設	信州新町地場産業振興市場(道の駅)	地元事業者等民間への譲渡を検討する。
体育施設	市民プール	平成26年度包括外部監査の意見などを踏まえ、効率的に活用されていない施設の廃止を検討する。 再配置計画モデル施設群として、平成28年度に案を作成し議論のきっかけづくりを行う。平成29年度以降市民の意見を聞き、平成30年度を目途に統廃合案を決定する。（鬼無里、信州新町については、学校プールとも調整を行う）
行政施設	大峰斎場 松代斎場 犀峽斎場 旧裾花斎場	老朽化や稼働率などを勘案し、斎場の整理統合を検討する。 旧裾花斎場は後利用を検討中。
文化施設	ミュゼ蔵	地元と活用策に取組みながら、平成33年度までは引き続き運営していく。 その後地元へ運営を譲渡する。

13

まとめ方のイメージと注意点（前半）



グループ検討

信州新町の公共施設の 将来像をまとめよう (後半)

検討のポイント

- ① 再配置のかたちをまとめる
- ② 効果と課題をまとめる
- ③ 自分たちにできることをまとめる

まとめ方のイメージと注意点（後半）

グループ

コンセプト：

[再配置のかたち]

- は△△へ統合する
- は××として活用する
- は廃止する
- ...

[自分たちにできること]

- イベントの開催
- △△の説得が必要
- ...

効果

- 集約化でコスト削減にぎわいの創出
- ...

課題

- の跡利用
- △△までの交通手段
- ...

